



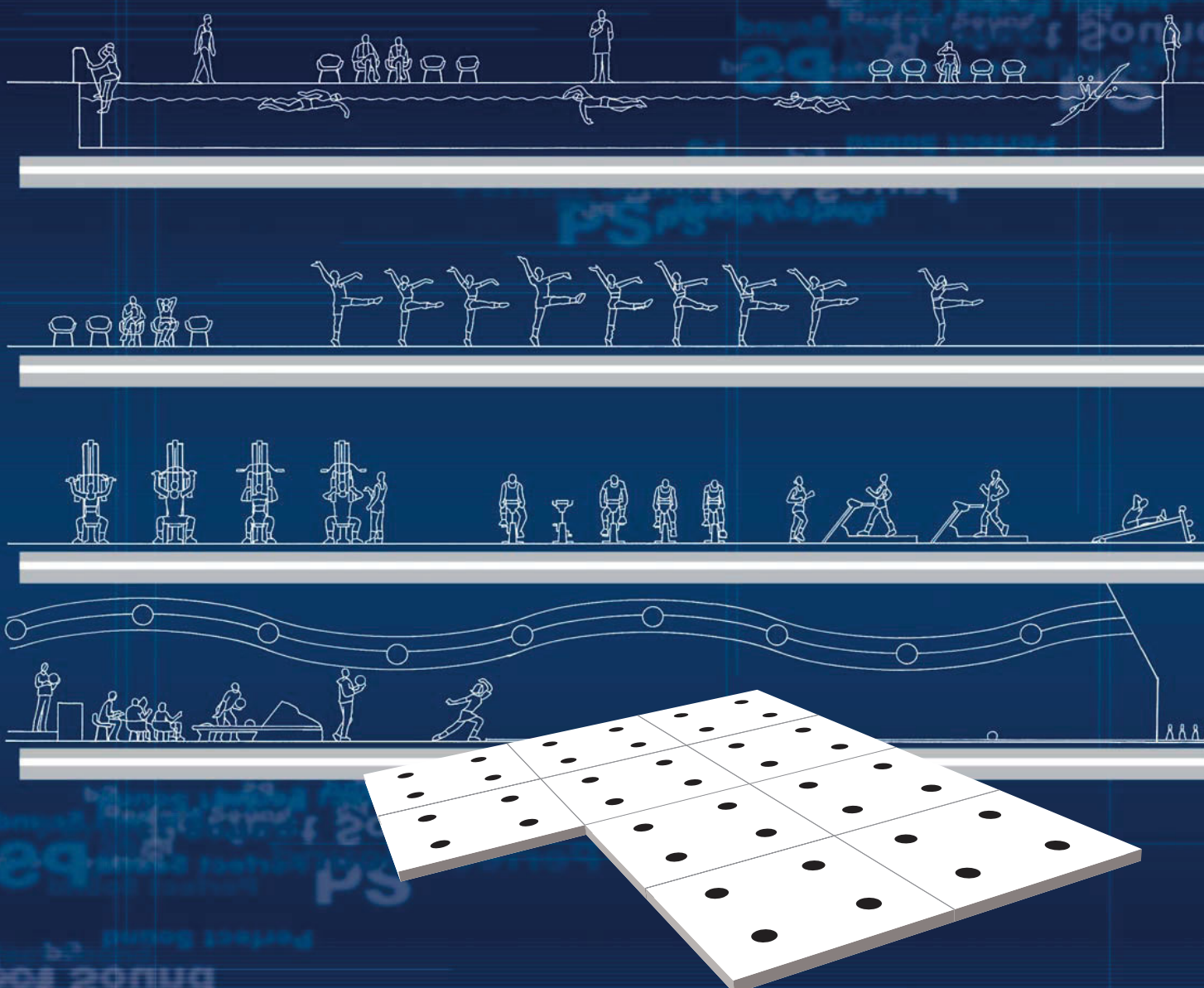
耐水型高発泡浮床材

PS Block Board for Structure-Borne Sound

PSブロック

音環境の高度化を実現した水に強い浮床工法の新発想。

高弾性ポリスチレンフォームの開発で
水に強く優れた防音・防振効果を実現しました。

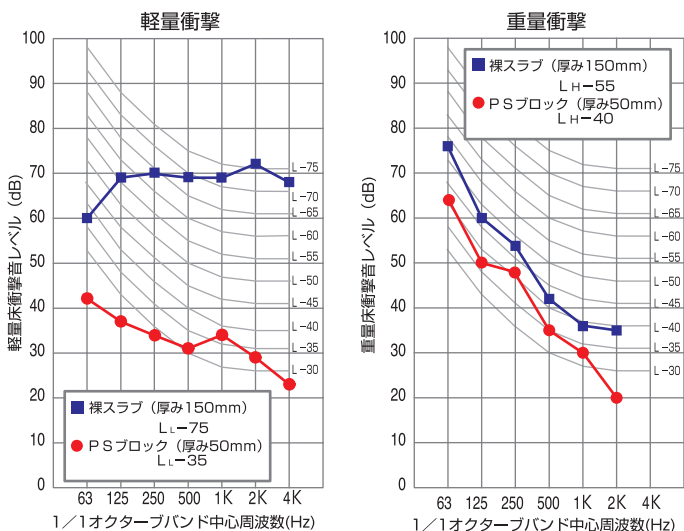


性能

PSブロックは、「耐水性」と「防振性能」を組合せた、湿式浮床工法の耐水型高発泡浮床材です。

■ 防音性能 (実験棟における床衝撃音遮断性能)

コンクリート床(厚み150mm)にPSブロック(厚み50mm)を敷き150mmの浮コン(375kg/m²)を乗せた床衝撃音実験結果

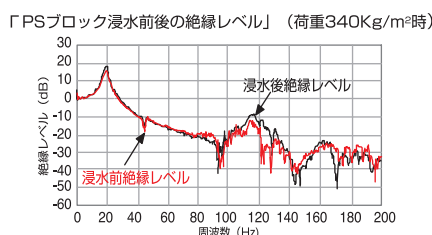
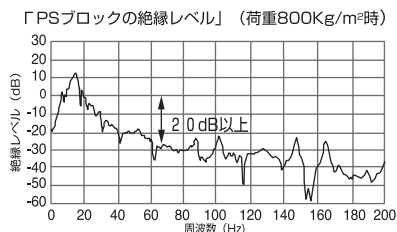


※本カタログに記載の数値は一定の条件の測定結果であり、PSブロックの性能を保証するものではありません。

■ 防振性能

音(固体音)の対策は、振動を減らす事が最も有効です。

- 騒音周波数域(63Hz~)で20dB以上(90%以上)の絶縁効果があります。
- 含水時の防振性能にもほとんど影響ありません。



耐水型高発泡浮床材

PS Block Board for Structure-Borne Sound

PSブロック

私たちの周りには、住宅・ホテル・学校などさまざまな建物があります。そこには用途に応じた環境を実現するために、いろいろな工夫がされています。浮床もその一つです。浮床は、設備機器の振動音(固体音)や、人の跳躍や走行による衝撃音、またはピアノなどの音や振動を軽減する工法です。

従来型の湿式浮床では、繊維系の材料(グラスウール類)が多く使われています。しかし、それらの材料は「含水した場合の防振性能の劣化」「大荷重や繰り返し荷重による沈下」「施工手間が多い」などの問題点がありました。

用途

集合住宅	共有部分(セットバック廊下、エントランス、バルコニー)の床衝撃音対策 機械室、電気室、ポンプ室の防音対策 機械式駐車、駐輪設備の防音対策 ピアノ室の防音対策
ホテル 複合ビル 遊戯施設	厨房、ユニットバス、ジェットバスの防音・防振対策 映画館、劇場、スタジオ、カラオケルームの防音対策 屋上(屋上緑化、デッキ、運動施設、レストラン)の防音・防振対策 中間階機械室の防音・防振対策 ダンスホール、キッズルームの防音・防振対策
公共施設 その他	設備機械室の防音・防振対策 体育館、プールの防音・防振対策



(スポーツジムフロア)



(マンション内施設)

※多人数・ジャンプ等、重量衝撃音が懸念される場合は特許機器へご相談ください。

特長

■ 簡単施工で工期短縮

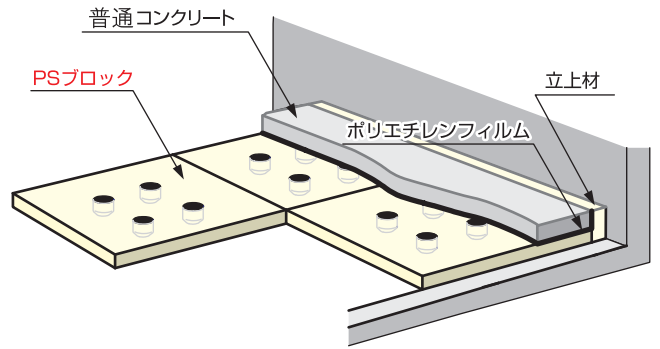
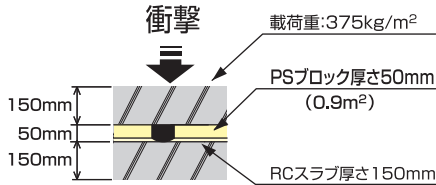
PSブロックを床に敷きポリエチレンフィルムとゴムテープでノロ対策

- 軽くて丈夫なので、持ち運びが簡単です。
- 工事中の降水対策も手間がかからず、工期の短縮が可能です。

■ 高い防振性能

■ 優れた防音性能

- 軽量衝撃 LL-35
- 重量衝撃 LH-40



■ 残留ひずみが少ない信頼性

● 信頼性

クリープはグラスウール緩衝材3種同等以上

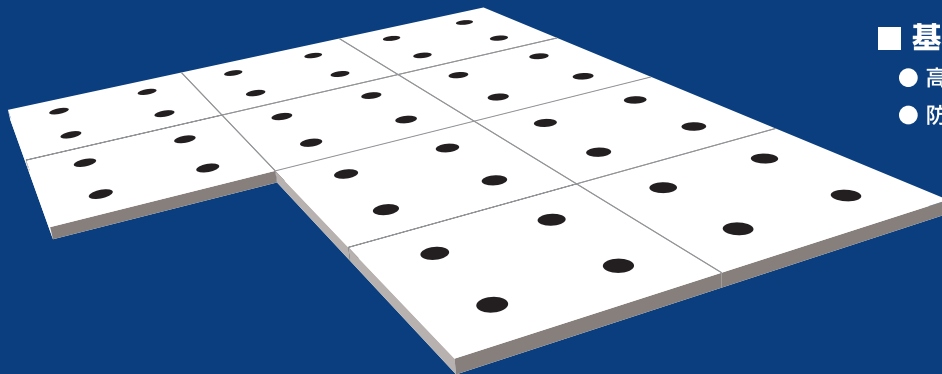
JISA6322との比較

※試験体は厚さ25mm

	残留ひずみ (N=3平均値) (mm)	
	0~1回	1~2回
PSブロック	1.0以下	0.3以下
(GW) グラスウール緩衝材3種	1.0以下	0.3以下

● 安全性

従来の繊維系緩衝材に比べ、皮膚、目などのかゆみの心配はいりません。

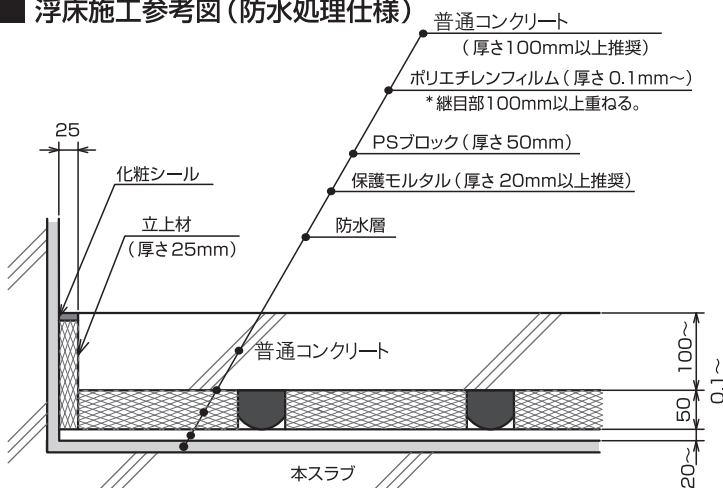


■ 基本構造

- 高弾性ポリスチレンフォーム
- 防振ゴム

施工参考図

■ 浮床施工参考図 (防水処理仕様)



※その他、断熱材仕様等の場合は特許機器へご相談ください。

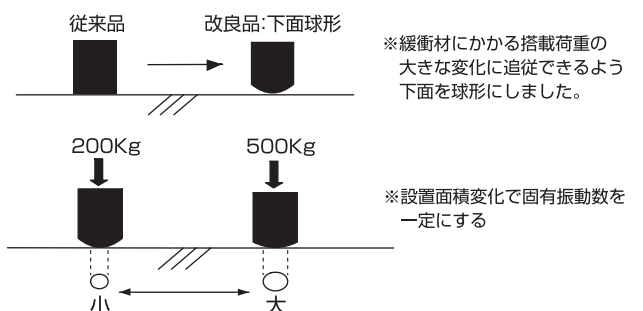
基本構造

■ 高弾性ポリスチレンフォーム

ポリスチレンフォームを高発泡(160倍)させ、さらに圧縮させることにより、優れた防振効果が得られます。

■ 防振ゴム

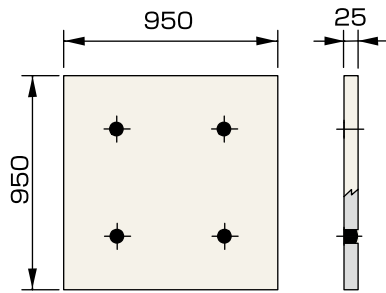
搭載荷重が変化してもゴムの設置面積が増減し固有振動数の上昇を抑えることができます。



PSブロックの仕様

PS-B-25M

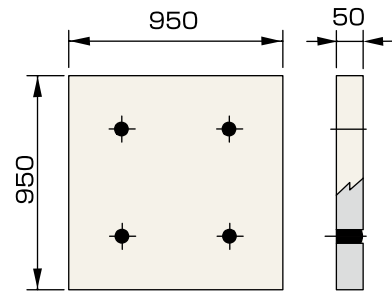
許容搭載荷重 800kg/m²



(単位 mm)

PS-B-50M

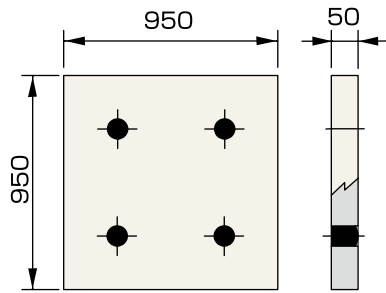
許容搭載荷重 800kg/m²



(単位 mm)

PS-B-50L

許容搭載荷重 2400kg/m²

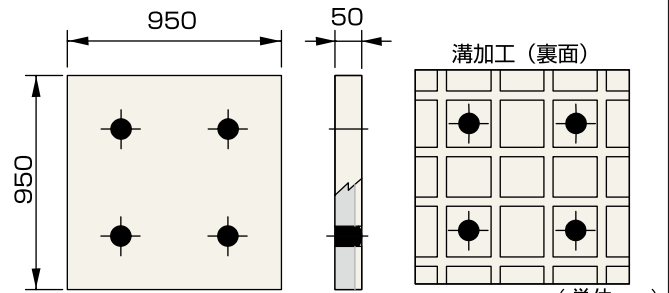


(単位 mm)

PS-B-50LU

許容搭載荷重 2300kg/m²

湧水処理仕様:特注品



(単位 mm)

取扱上の注意事項

- 火気注意
- 有機溶剤注意
- 高温注意
- 強風注意
- 破棄する際の注意

難燃剤を加え微少火源では着火しにくくしてありますが、不燃材ではありません。従って輸送・保管・施行に際しては、火気に十分注意するとともに適切に養生してください。特に付近で溶接・溶断を行う際は、火花等が当たらないよう確実に養生してください。アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますのでご注意ください。高温になると樹脂が軟化しますので、65℃以下でご使用ください。軽量で取扱いが容易な反面、風におおられやすいので強風下での作業は行わないでください。廃棄する際には、各地域の廃棄物処理指針に従って処理してください。燃やすと黒煙(すす)がでますのでご注意ください。※注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。詳細はお問合せください。



安全に関するご注意

●ご使用前に「施工要領書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このカタログは2021年4月現在のものです。製品の改良にともない一部仕様を変更することがあります。

複写・転載を禁止します

【製造元】



Vibration Control Technology
特許機器株式会社

TOKKYOKIKI

東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-5-15 TEL (03) 6831-0001 (代)
 関西営業所 〒660-0833 兵庫県尼崎市南初島町 10-133 TEL (06) 6487-3202 (代)
 中部営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 2-10-13 TEL (052) 220-0888 (代)
 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8 TEL (092) 474-2773 (代)
 本社・工場 〒660-0833 兵庫県尼崎市南初島町 10-133 TEL (06) 6487-3939 (代)



快適で最適な環境づくりのご相談は、豊富な経験・実績で信頼できる特許機器へ <https://www.tokkyokiki.co.jp>

kaneka 株式会社 **カネカ** 発泡樹脂・製品事業部

東京本社 〒107-6025 東京都港区赤坂1-12-32 (アーク森ビル)

■ホームページアドレス <http://www2.kenzai.kaneka.co.jp>

【販売元】

kaneka カネカケンテック株式会社 住環境事業部

本社・東日本営業部 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-3 TEL (03) 3596-7011

西日本営業部 〒541-0045 大阪市中央区道修町 4-4-10 TEL (06) 6205-3621

北日本営業部 〒060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 3-1-20 TEL (011) 222-5231